

特別プログラム

〔第1日 11月5日（火）〕

<会長講演> 特設会場「国立大ホール」 9:10～9:40

「未来へつなぐ神経治療学—自己免疫性脳炎の発展—」

座長：平田 幸一（獨協医科大学内科学（神経））

演者：亀井 聡（日本大学医学部内科学系神経内科学分野）

<理事長講演> 特設会場「国立大ホール」 9:40～10:10

「頭痛と睡眠障害研究から紐解く神経治療」

座長：亀井 聡（日本大学医学部内科学系神経内科学分野）

演者：平田 幸一（獨協医科大学内科学（神経））

<国際化・創薬関連シンポジウム> 特設会場「国立大ホール」 10:25～11:25

「神経疾患における医療ニーズ調査の報告」

座長：中村 治雅（国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター）

(1) ご挨拶

平田 幸一（獨協医科大学内科学（神経））

(2) 医療ニーズ調査について ～これまでの経緯と今回の調査概要～

中村 治雅（国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター）

(3) 医療ニーズ調査結果報告 ～60 神経疾患を中心に～

鈴木 啓介（国立長寿医療研究センター治験・臨床研究推進センター）

(4) 医療ニーズ調査報告 ～アルツハイマー病を中心に～

和田 健二（川崎医科大学認知症学）

<ASENT 講演> 特設会場「国立大ホール」 14:00～15:00

「Lessons Learned: Challenges in the Design of the First Pivotal Phase III Trials for a New Indication」

座長：平田 幸一（獨協医科大学内科学（神経））

藤原 一男（福島県立医科大学医学部多発性硬化症治療学講座）

演者：Andrew Cole（MGH Epilepsy Service, Department of Neurology, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School）

<特別講演> 特設会場「国立大ホール」 15:00～15:45

「LRRK 2 gene mutations in the pathophysiology of the ROCO domain and therapeutic targets for Parkinson's disease」

座長：亀井 聡（日本大学医学部内科学系神経内科学分野）

望月 秀樹（大阪大学大学院医学系研究科神経内科学）

演者：Ruey-Meei Wu（Department of Neurology, National Taiwan University Hospital, College of Medicine, National Taiwan University）

<シンポジウム 1> 第1会場「会議センター 5F 501+502」 16:00～18:00

「神経領域における創薬研究の新たな展開：神経機能の回復をめざして」

座長：藤原 一男（福島県立医科大学医学部多発性硬化症治療学講座）

藤岡 俊樹（東邦大学医学部内科学講座神経内科学分野）

- (1) iPS細胞を用いた脊髄損傷に対する再生医療
名越 慈人（慶應義塾大学整形外科）
- (2) iPS細胞を用いたパーキンソン病治療
高橋 淳（京都大学 iPS細胞研究所）
- (3) 脳梗塞と脊髄損傷等に対する骨髄間葉系幹細胞の静脈内投与による細胞移植療法
佐々木祐典（札幌医科大学医学部附属フロンティア医学研究所神経再生医療学部門）
- (4) 中枢神経回路の障害と修復を制御するメカニズムと治療法の開発
山下 俊英（大阪大学大学院医学系研究科）

<シンポジウム 2> 第2会場「会議センター 5F 503」 16:00～18:00

「認知症のバイオマーカーと早期診断 update」

座長：冨本 秀和（三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学）

松川 則之（名古屋市立大学大学院医学研究科神経内科学）

- (1) 認知症早期発見のためのバイオマーカー開発の近況
冨本 秀和（三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学）
- (2) マルチモーダルイメージングによる認知症発症メカニズムの探索
佐原 成彦（量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所）
- (3) アミロイドとタウのPETイメージング
古川 勝敏（東北医科薬科大学医学部地域医療学）
- (4) “脳型” トランスフェリンは特発性正常圧水頭症の診断及び認知症の予後マーカーとなる
橋本 康弘（福島県立医科大学）
- (5) 超高感度ELISA（Simoa）による認知症の血液バイオマーカーの開発：リン酸化タウを中心に
徳田 隆彦（京都府立医科大学分子脳病態解析学）

<シンポジウム 3> 第3会場「会議センター 5F 511+512」 16:00～18:00

「神経疾患の予防医学」

座長：桂 研一郎（国際医療福祉大学三田病院予防医学センター・神経内科）

永田栄一郎（東海大学医学部内科学系神経内科）

- (1) 認知症の発症遅延へ向けた取り組み
島田 裕之（国立長寿医療研究センター）
- (2) 分子状水素による認知症を含む神経疾患予防の可能性
大澤 郁朗（東京都健康長寿医療センター研究所）
- (3) 重症筋無力症の予防
吉川 弘明（金沢大学保健管理センター）
- (4) 脳卒中の一次予防：人間ドック・脳ドックの観点から
桂 研一郎（国際医療福祉大学三田病院予防医学センター・神経内科）
- (5) 頭痛の予防—抗体医薬の登場
永田栄一郎（東海大学医学部内科学系神経内科）

<シンポジウム 4> 第4会場「会議センター 3F 303」 16:00～18:00

「神経変性疾患に対する医師主導治験とエビデンス構築」

座長：桑原 聡（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学）

青木 正志（東北大学大学院医学系研究科神経内科）

祖父江 元（名古屋大学医学系研究科，愛知医科大学）

(1) 神経変性疾患の治療の特性（アカデミアの立場から）

祖父江 元（名古屋大学医学系研究科，愛知医科大学）

(2) 神経変性疾患の臨床試験のポイント

佐久嶋 研（医薬品医療機器総合機構レギュラトリーサイエンスセンター）

(3) 多系統萎縮症に対する医師主導治験

辻 省次（東京大学医学部分子神経学，国際医療福祉大学）

(4) 筋萎縮性側索硬化症に対する医師主導治験

和泉 唯信（徳島大学病院神経内科）

<シンポジウム 5> 第5会場「会議センター 3F 304」 16:00～18:00

「脳卒中におけるトランスレーショナル・リサーチ」

座長：平野 照之（杏林大学医学部脳卒中医学）

小野寺 理（新潟大学神経内科）

(1) 脳梗塞とバイオマーカー

吾郷 哲朗（九州大学大学院医学研究院病態機能内科学（第二内科））

(2) 脳小血管病の新たな疾患責任遺伝子 *COL4A1/COL4A2*

宮武 聡子（横浜市立大学附属病院遺伝子診療科）

(3) 虫歯・歯周病と脳卒中・認知症の関連（RAMESSES 研究）

猪原 匡史（国立循環器病研究センター脳神経内科）

(4) 歯髓由来幹細胞（DPSC）による虚血性脳卒中の治療法開発

仁藤智香子（日本医科大学脳神経内科）

(5) 脳梗塞亜急性期に対する自家骨髄幹細胞の直接投与（第一相治験：RAINBOW 研究）

川堀 真人（北海道大学脳神経外科）

<教育講演 1（共催：日本核酸医薬学会）> 第8会場「会議センター 3F 315」 16:00～18:00

「誰でも分かる核酸医薬品の基本と臨床」

座長：横田 隆徳（東京医科歯科大学脳神経病態学分野）

(1) 核酸医薬とは何か

横田 隆徳（東京医科歯科大学脳神経病態学分野）

(2) 核酸医薬の化学

横田 隆徳（東京医科歯科大学脳神経病態学分野）

(3) 核酸医薬の体内動態と DDS

西川 元也（東京理科大学薬学部）

(4) 核酸医薬の生物学

永田 哲也（東京医科歯科大学脳神経病態学分野）

(5) 核酸医薬の臨床応用

永田 哲也（東京医科歯科大学脳神経病態学分野）

(6) 脊髄性筋萎縮症に対する神経プライミング制御治療

佐橋健太郎（名古屋大学医学部附属病院）

<マラソンレクチャー 1> 第8会場「会議センター 3F 315」 10:25～11:05

「神経疾患の画像診断 (1) 神経変性疾患」

座長：瀧山 嘉久 (山梨大学大学院総合研究部医学域神経内科学)

演者：池田 佳生 (群馬大学大学院医学系研究科脳神経内科学)

<メディカルスタッフレクチャー 1> 第6会場「会議センター 3F 311+312」 16:00～16:40

「今日から始める神経筋超音波検査」

座長：西山 和利 (北里大学医学部脳神経内科学)

演者：澁谷 和幹 (千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学)

<メディカルスタッフレクチャー 2> 第6会場「会議センター 3F 311+312」 16:40～17:20

「臨床に役立つ神経伝導検査の実際」

座長：今井 富裕 (札幌医科大学保健医療学部)

演者：逸見 祥司 (川崎医科大学神経内科)

<メディカルスタッフレクチャー 3> 第6会場「会議センター 3F 311+312」 17:20～18:00

「臨床に役立つ針筋電図検査の実際」

座長：園生 雅弘 (帝京大学神経内科学講座)

演者：宮地 洋輔 (横浜市立大学医学部神経内科学・脳卒中医学)

<ケースカンファレンス 1> 第7会場「会議センター 3F 313+314」 16:00～18:00

「筋萎縮性側索硬化症」

企画チーフ：北山 通朗 (岡山旭東病院脳神経内科)

杉浦 真 (安城更生病院神経内科)

総合司会：北山 通朗 (岡山旭東病院脳神経内科)

杉浦 真 (安城更生病院神経内科)

アドバイザー：荻野美恵子 (国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター)

ファシリテーター：北口 浩史 (倉敷中央病院脳神経内科)

花井亜紀子 (国立精神・神経医療研究センター病院医療連携福祉部 / 看護部)

深田 育代 (国立病院機構松江医療センター脳神経内科)

木田 耕太 (東京都立神経病院脳神経内科)

安井 建一 (同愛会博愛病院神経内科)

中本 富美 (医王病院主任医療社会事業専門職)

古川 裕 (国立病院機構石川病院脳神経内科)

〔第2日 11月6日(水)〕

<シンポジウム6> 第1会場「会議センター 5F 501+502」 9:00～11:00

「神経難病におけるトランスレーショナル・リサーチ」

座長：青木 正志（東北大学大学院医学系研究科神経内科）

勝野 雅央（名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学）

(1) 脊髄小脳失調症31型(SCA31)の病態と治療戦略

石川 欽也（東京医科歯科大学大学院ゲノム健康医療学分野, 東京医科歯科大学大学院脳神経病態学分野）

(2) 特発性基底核石灰化症の病態解明と治療薬の開発

保住 功（岐阜薬科大学薬物治療学）

(3) ALS 病原蛋白質の局在に基づく抗体医療戦略

漆谷 真（滋賀医科大学内科学講座脳神経内科）

(4) ALS に対する HGF 治療

青木 正志（東北大学大学院医学系研究科神経内科）

<シンポジウム7> 第2会場「会議センター 5F 503」 9:00～11:00

「免疫性神経疾患診療の最前線」

座長：楠 進（近畿大学医学部脳神経内科）

藤原 一男（福島県立医科大学医学部多発性硬化症治療学講座）

(1) 多発性硬化症・視神経脊髄炎の分子標的治療

中島 一郎（東北医科薬科大学医学部老年神経内科学）

(2) GBS の予後予測と治療戦略

桑原 基（近畿大学医学部脳神経内科）

(3) CIDP の病態と治療法の最新情報

小池 春樹（名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学）

(4) 重症筋無力症の治療アルゴリズム

村井 弘之（国際医療福祉大学医学部脳神経内科学）

(5) 自己免疫性炎症性筋疾患—自己抗体, 筋病理, 治療

西野 一三（国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部）

<シンポジウム8> 第3会場「会議センター 5F 511+512」 9:00～11:00

「地域で支える神経難病診療体制の現状と展望：患者・家族の意思決定支援へのかかわり」

座長：鈴木 正彦（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター神経内科）

尾方 克久（国立病院機構東埼玉病院）

(1) 大学病院での患者意思決定支援の実際

余郷麻希子（曙ホームクリニック）

(2) 在宅診療における患者意思決定のための寄り添い

吉野 英（吉野内科・神経内科医院）

(3) 患者・家族の意思決定支援 難病専門病院の立場から

荻野 裕（国立病院機構箱根病院神経内科）

(4) 意思決定支援の臨床倫理：ALS 患者の侵襲的人工呼吸器選択をめぐる

清水 哲郎（岩手保健医療大学）

<シンポジウム 9> 第4会場「会議センター 3F 303」 9:00～11:00

「パーキンソン病の新規治療戦略」

座長：服部 信孝（順天堂大学神経学講座）

渡辺 宏久（藤田医科大学脳神経内科学）

- (1) 新しいパーキンソン病治療薬
前田 哲也（岩手医科大学医学部内科学講座神経内科・老年科分野）
- (2) α -synuclein 凝集・伝播を標的とした PD 疾患修飾療法開発の現況
長谷川隆文（東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野）
- (3) 脂質代謝酵素に注目した根本治療
波田野 琢（順天堂大学神経学講座）
- (4) デバイスを用いた患者モニタリングの現状と可能性
大山 彦光（順天堂大学部附属順天堂医院脳神経内科）

<シンポジウム 10> 第2会場「会議センター 5F 503」 13:50～15:50

「核医学から迫る神経疾患の病態解明」

座長：鈴木 正彦（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター神経内科）

池田 佳生（群馬大学大学院医学系研究科脳神経内科学）

- (1) 核医学バイオマーカーによる認知症の病態解明
石井 賢二（東京都健康長寿医療センター研究所）
- (2) 神経伝達物質からみたパーキンソン病
三品 雅洋（日本医科大学脳病態画像解析学講座）
- (3) レヴィ小体病の概念を変えた MIBG 心筋シンチグラフィ
織茂 智之（関東中央病院神経内科）

<シンポジウム 11> 第2会場「会議センター 5F 503」 16:00～18:00

「シヌクレイノパチーの病態・治療 update」

座長：望月 秀樹（大阪大学大学院医学系研究科神経内科学）

小野賢二郎（昭和大学脳神経内科）

- (1) シヌクレイノパチーの病態に基づいた疾患修飾へのアプローチ
小野賢二郎（昭和大学脳神経内科）
- (2) エクソソームを介したシヌクレイノパチーの発症機序
華山 力成（金沢大学）
- (3) シヌクレイノパチーのバイオマーカー
佐藤 克也（長崎大学医歯薬学総合研究科医療科学専攻保健科科学分野）
- (4) シヌクレイノパチーの次世代治療
中森 雅之（大阪大学医学系研究科神経内科学）

<教育講演 2> 第6会場「会議センター 3F 311+312」 9:00～9:40

「診療報酬はどのように決定されるのか？」

座長：鈴木 裕（日本大学医学部内科学系総合診療学分野）

演者：荻野美恵子（国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター）

- <教育講演 3> 第6会場「会議センター 3F 311+312」 9:40～10:20
「遺伝性脊髄小脳変性症と多系統萎縮症」
座長：吉田 邦広（信州大学医学部神経難病学）
演者：矢部 一郎（北海道大学大学院医学研究院神経病態学講座神経内科学教室）
- <教育講演 4> 第6会場「会議センター 3F 311+312」 10:20～11:00
「アミロイドーシスの診断と治療 update —ガイドラインとその先の展望—」
座長：山田 正仁（金沢大学大学院脳老化・神経病態学（脳神経内科学））
演者：関島 良樹（信州大学医学部脳神経内科，リウマチ・膠原病内科）
- <教育講演 5> 第6会場「会議センター 3F 311+312」 13:50～14:30
「21世紀のてんかんの診断と治療：てんかんは国民病」
座長：赤松 直樹（国際医療福祉大学医学部脳神経内科，福岡山王病院脳神経内科）
演者：池田 昭夫（京都大学大学院医学研究科てんかん，運動異常生理学講座）
- <教育講演 6> 第6会場「会議センター 3F 311+312」 14:30～15:10
「自己免疫てんかんの診断・治療アルゴリズム」
座長：高橋 良輔（京都大学大学院医学研究科臨床神経学）
演者：松本 理器（神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学分野）
- <教育講演 7> 第6会場「会議センター 3F 311+312」 15:10～15:50
「脳卒中後てんかんの診断と治療における最前線」
座長：竹川 英宏（獨協医科大学病院脳卒中センター）
演者：星山 栄成（獨協医科大学脳神経内科・救命救急センター）
- <教育講演 8> 第6会場「会議センター 3F 311+312」 16:00～16:40
「脳内ネットワーク異常を考慮したパーキンソン病の治療戦略」
座長：野川 茂（東海大学医学部附属八王子病院神経内科）
演者：渡辺 宏久（藤田医科大学脳神経内科学）
- <教育講演 9> 第6会場「会議センター 3F 311+312」 16:40～17:20
「L-ドパ誘発ジスキネジアの病態機序と治療」
座長：赫 寛雄（東京医科大学神経学分野）
演者：富山 誠彦（弘前大学脳神経内科）
- <教育講演 10> 第6会場「会議センター 3F 311+312」 17:20～18:00
「内科医として知っておくべき頭蓋内出血の現状と対策」
座長：豊田 一則（国立循環器病研究センター）
演者：長尾 毅彦（日本医科大学多摩永山病院脳神経内科）
- <マラソンレクチャー 2> 第8会場「会議センター 3F 315」 9:40～10:20
「急性脳炎診療の進め方とポイント」
座長：法化 陽一（大分県立病院神経内科）
演者：中嶋 秀人（日本大学医学部内科学系神経内科学分野）

- <マラソンレクチャー 3> 第8会場「会議センター 3F 315」 10:20～11:00
「中枢神経系の炎症性脱髄疾患の画像所見」
座長：水野 敏樹（京都府立医科大学神経内科）
演者：田添 潤（京都府立医科大学放射線診断治療学）
- <マラソンレクチャー 4> 第8会場「会議センター 3F 315」 13:50～14:30
「一目でわかる中枢神経病理」
座長：道勇 学（愛知医科大学医学部内科学講座神経内科学）
演者：吉田 眞理（愛知医科大学加齢医科学研究所）
- <マラソンレクチャー 5> 第8会場「会議センター 3F 315」 14:30～15:10
「失敗しない筋病理標本の作りかた読みかたのエッセンス」
座長：伊藤 瑞規（豊田厚生病院脳神経内科）
演者：杉江 和馬（奈良県立医科大学脳神経内科学）
- <マラソンレクチャー 6> 第8会場「会議センター 3F 315」 15:10～15:50
「一目でわかる筋病理～筋疾患を正しく診断するために～」
座長：村井 弘之（国際医療福祉大学医学部脳神経内科学）
演者：山下 賢（熊本大学大学院脳神経内科学）
- <メディカルスタッフレクチャー 4> 第7会場「会議センター 3F 313+314」 10:10～10:50
「パーキンソン病ナース：その役割と海外の現状」
座長：高橋 一司（埼玉医科大学脳神経内科）
演者：関 守信（慶應義塾大学医学部神経内科）
- <メディカルスタッフレクチャー 5> 第7会場「会議センター 3F 313+314」 10:50～11:30
「神経難病と療養支援の現状と今後の課題 ～療養行程の伴走者として～」
座長：成田 有吾（三重大学大学院医学系研究科看護学専攻）
演者：中山 優季（公益財団法人東京都医学総合研究所難病ケア看護）
- <メディカルスタッフレクチャー 6> 第7会場「会議センター 3F 313+314」 11:30～12:10
「脳卒中診療における超音波検査の実際」
座長：星野 晴彦（東京都済生会中央病院）
演者：永野 恵子（大阪医療センター脳卒中内科）
- <メディカルスタッフレクチャー 7> 第7会場「会議センター 3F 313+314」 15:00～15:40
「明日から役立つ実践・脳波判読のコツ」
座長：飯嶋 睦（東京女子医科大学脳神経内科）
演者：神 一敬（東北大学大学院てんかん学分野）
- <メディカルスタッフレクチャー 8> 第7会場「会議センター 3F 313+314」 15:40～16:20
「臨床に役立つ誘発電位・事象関連電位検査の実際」
座長：鈴木 ゆめ（横浜市立大学附属市民総合医療センター一般内科）
演者：黒岩 義之（横浜市立大学、帝京大学溝口病院）

<メディカルスタッフレクチャー 9> 第7会場「会議センター 3F 313+314」 16:30～17:10

「神経心理学的評価 失語」

座長：高橋 慎一（埼玉医科大学国際医療センター脳卒中内科）

演者：鈴木 匡子（東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学）

<メディカルスタッフレクチャー 10> 第7会場「会議センター 3F 313+314」 17:10～17:50

「神経心理学的評価 その他の高次脳機能障害」

座長：岩田 誠（メディカルクリニック柿の木坂）

演者：今村 徹（新潟医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健学専攻言語聴覚学分野）

<ケースカンファレンス 2> 第8会場「会議センター 3F 315」 16:00～18:00

「多系統萎縮症」

企画チーフ：下畑 享良（岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野）

総合司会：下畑 享良（岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野）

ファシリテーター：三條 伸夫（東京医科歯科大学大学院脳神経病態学分野（神経内科））

和田 健二（川崎医科大学認知症学）

中根 俊成（熊本大学病院分子神経治療学寄附講座）

仙石 鍊平（東京都健康長寿医療センター神経内科）

松島 理明（北海道大学病院神経内科）

田代 淳（医療法人北祐会札幌パーキンソン MS 神経内科クリニック）

林 祐一（岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科）

<臨床研究デザインワークショップ> 第4会場「会議センター 3F 303」 14:00～18:00

「臨床の疑問を研究で解決する方法を導き出す」

総合司会：中村 治雅（国立精神・神経医療研究センター トランスレーショナル・メディカルセンター）

橋詰 淳（名古屋大学医学部附属病院脳神経内科）

講師：鈴木 啓介（国立長寿医療研究センター 治験・臨床研究推進センター）

飛田 英佑（大阪大学大学院医学系研究科医療データ科学共同研究講座）

ファシリテーター：荻野美恵子（国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター）

藤本 陽子（ファイザー株式会社バイオフィーマシューティカルズ事業部門）

三澤 園子（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学）

山本 敏之（国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科）

尾方 克久（国立病院機構東埼玉病院）

山野 嘉久（聖マリアンナ医科大学大学院先端医療開発学）

< Let's debate in English > 第6会場「会議センター 3F 311+312」 11:10～12:10

「Levodopa or Dopamine Agonist, which is the suitable drug for treatment of young de novo Parkinson's disease patients?」

総合司会：服部 信孝（順天堂大学神経学講座）

ファシリテーター：波田野 琢（順天堂大学神経学講座）

木村 活生（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

〔第3日 11月7日(木)〕

<シンポジウム12> 第1会場「会議センター 5F 501+502」 9:00～11:00

「自己免疫性脳炎の診療 update」

座長：高嶋 博（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経内科・老年病学）

山村 隆（国立精神・神経医療研究センター神経研究所）

- (1) 筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群の研究の進歩とイメージング
渡辺 恭良（理化学研究所）
- (2) 自己免疫性脳症の臨床症候と治療の実際 —ヒステリーとの鑑別—
高嶋 博（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経内科・老年病学）
- (3) 新しい自己免疫性脳炎1：DPPX抗体関連脳炎およびその他の新規自己免疫性脳炎
原 誠（日本大学医学部内科学系神経内科学分野）
- (4) 新しい自己免疫性脳炎2：NINJAとその病態
山村 隆（国立精神・神経医療研究センター神経研究所）

<シンポジウム13> 第2会場「会議センター 5F 503」 9:00～11:00

「ぜひ知っておきたい神経感染症の診断・治療 update」

座長：中嶋 秀人（日本大学医学部内科学系神経内科学分野）

山野 嘉久（聖マリアンナ医科大学大学院先端医療開発学）

- (1) 治療合併症としての進行性多巣性白質脳症—リスク判定, 診断, 治療
中原 仁（慶應義塾大学医学部神経内科）
- (2) 届出の必要な新しい神経感染症「急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）」の診断と治療
多屋 馨子（国立感染症研究所感染症疫学センター）
- (3) 新ガイドラインを踏まえた HTLV-1 関連脊髄症（HAM）の診断と治療
山野 嘉久（聖マリアンナ医科大学大学院先端医療開発学）
- (4) 西日本から全国に拡散する？重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の診断と治療
西條 政幸（国立感染症研究所ウイルス第一部）

<シンポジウム14> 第4会場「会議センター 3F 303」 9:00～11:00

「遺伝性筋疾患におけるトランスレーショナル・リサーチ」

座長：西野 一三（国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部）

中村 治雅（国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター）

- (1) 遺伝性筋疾患のトランスレーショナル・リサーチの難しさ
中村 治雅（国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター）
- (2) Duchenne型筋ジストロフィーの治療法開発
青木 吉嗣（国立精神・神経医療研究センター神経研究所遺伝子疾患治療研究部）
- (3) GNE ミオパチーの治療法開発
青木 正志（東北大学大学院医学系研究科神経内科）
- (4) ミトコンドリア病 MELAS に対するタウリン療法
砂田 芳秀（川崎医科大学神経内科学）

<シンポジウム 15> 第5会場「会議センター 3F 304」 9:00～11:00

「片頭痛診療の最前線：特に病態解明と新たな治療について」

座長：平田 幸一（獨協医科大学内科学（神経））

竹島多賀夫（富永病院）

- (1) 片頭痛における中枢神経感作の役割
鈴木 圭輔（獨協医科大学脳神経内科）
- (2) 中枢性感作に影響する要因
端詰 勝敬（東邦大学医学部心身医学講座）
- (3) 新時代の片頭痛治療薬 CGRP 抗体，受容体抗体薬について
柴田 護（慶應義塾大学神経内科）
- (4) 成熟したトリプタン治療も新規急性期治療薬の登場で変わるのか
菊井 祥二（富永病院脳神経内科・頭痛センター）

<シンポジウム 16 (PMDA ジョイント)> 第1会場「会議センター 5F 501+502」 13:50～15:50

「治験におけるアウトカム，有効性評価指標の考え方」

座長：加藤 直人（医薬品医療機器総合機構）

中村 治雅（国立精神・神経医療研究センター トランスレーショナル・メディカルセンター）

- (1) 神経変性疾患治療薬の開発・承認申請における有効性評価について
前田さゆり（医薬品医療機器総合機構）
- (2) 神経疾患領域の新薬開発の現状と有効性評価について
荒木 亮祐（医薬品医療機器総合機構新薬審査第三部）
- (3) 薬効評価における知っておくべき統計学の知識
飛田 英佑（大阪大学大学院医学系研究科医療データ科学共同研究講座）
- (4) 医師主導治験で私が学んだこと
三澤 園子（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学）

<教育講演 11> 第7会場「会議センター 3F 313+314」 9:20～10:00

「免疫チェックポイント阻害薬の副作用とその対応」

座長：安東由喜雄（長崎国際大学薬学部アミロイドーシス病態解析学分野）

演者：鈴木 重明（慶應義塾大学神経内科）

<教育講演 12> 第7会場「会議センター 3F 313+314」 10:00～10:40

「視神経脊髄炎関連疾患の病態生理と治療—update—」

座長：清水 優子（東京女子医科大学脳神経内科）

演者：松井 真（金沢医科大学医学部神経内科学）

<教育講演 13> 第7会場「会議センター 3F 313+314」 10:50～11:30

「新ガイドラインにみるパーキンソン病の治療戦略と実践」

座長：伊東 秀文（和歌山県立医科大学脳神経内科）

演者：武田 篤（仙台西多賀病院）

<教育講演 14> 第7会場「会議センター 3F 313+314」 11:30～12:10

「炎症性筋疾患の治療 update」

座長：杉本 英樹（東邦大学内科学講座神経内科学分野）

演者：清水 潤（東京工科大学医療保健学部）

<教育講演 15> 第7会場「会議センター 3F 313+314」 13:50～14:30

「神経疾患と深部静脈血栓症」

座長：棚橋 紀夫（埼玉医科大学国際医療センター神経内科）

演者：濱口 浩敏（北播磨総合医療センター脳神経内科）

<マラソンレクチャー 7> 第8会場「会議センター 3F 315」 9:20～10:00

「虚血性脳血管障害に対する rt-PA 静注療法と血管内治療」

座長：八木田佳樹（川崎医科大学脳卒中医学）

演者：木村 和美（日本医科大学神経内科学分野）

<マラソンレクチャー 8> 第8会場「会議センター 3F 315」 10:00～10:40

「免疫介在性末梢神経疾患の治療 update」

座長：神田 隆（山口大学大学院臨床神経学）

演者：千葉 厚郎（杏林大学脳神経内科学教室）

<マラソンレクチャー 9> 第8会場「会議センター 3F 315」 10:50～11:30

「ジストニア診療 update」

座長：阿部 康二（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科神経病態内科学（神経内科））

演者：梶 龍兒（国立病院機構宇多野病院，徳島大学）

<マラソンレクチャー 10> 第8会場「会議センター 3F 315」 11:30～12:10

「神経疾患の画像診断：神経疾患の診断のための各種画像検査」

座長：吉良 潤一（九州大学大学院医学研究院神経内科）

演者：森 壘（東京大学大学院医学系研究科生体物理医学専攻放射線医学講座）

<メディカルスタッフレクチャー 11> 第6会場「会議センター 3F 311+312」 10:50～11:30

「明日から役立つ，パーキンソン病の外来リハビリテーション指導」

座長：林 明人（順天堂大学浦安病院）

演者：神成 一哉（青森県立保健大学理学療法学科）

<メディカルスタッフレクチャー 12> 第6会場「会議センター 3F 311+312」 11:30～12:10

「神経疾患のリハビリテーション；Sports Neurology とリハビリテーション医学の立場から」

座長：三原 雅史（川崎医科大学神経内科学）

演者：原 元彦（埼玉医科大学リハビリテーション科）

<ケースカンファレンス 3> 第8会場「会議センター 3F 315」 13:50～15:50

「パーキンソン病」

企画チーフ：織茂 智之（関東中央病院神経内科）

総合司会：織茂 智之（関東中央病院神経内科）

ファシリテーター：市川 忠（埼玉県総合リハビリテーションセンター脳神経内科）

飯嶋 睦（東京女子医科大学脳神経内科）

前田 哲也（岩手医科大学医学部内科学講座神経内科・老年科分野）

波田野 琢（順天堂大学）

西田 卓（トヨタ記念病院脳神経内科）

和手 麗香（いずみ脳神経内科，関西医科大学）

栗崎 玲一（国立病院機構熊本再春医療センター脳神経内科）

<体験実技セミナー> 第2会場「会議センター 5F 503」 13:50～15:20 共催：（公社）日本鍼灸学会

「医師の為の鍼灸体験講座 ～神経疾患に対する鍼灸治療の実際～」

座長：荒木 信夫（埼玉医科大学神経内科）

講師：山口 智（埼玉医科大学東洋医学科）

(1) 講演 鍼灸治療に関する総論と神経疾患に対する鍼灸治療の実際とその作用機序

山口 智（埼玉医科大学東洋医学科）

(2) 鍼灸治療の実技供覧

山口 智（埼玉医科大学東洋医学科）

(3) 個別指導 参加された専門医の先生方に実際の経穴（ツボ）の取り方や，円皮鍼（簡易型鍼）の施術法を指導
当科医局スタッフ

(4) まとめ

山口 智（埼玉医科大学東洋医学科）